

令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力及び  
令和4年度日本 NGO 連携無償資金協力（概要）

今次署名 10 案件（概要）

令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

1. ダナン市総合病院におけるベッドサイドモニター整備計画
2. クアンビン省における統合的クラスター弾等除去計画
3. タイビン省枯葉剤被害者協会リハビリ・職業訓練センター機材整備計画
4. イエンバイ省ムーカンチャイ郡チエークーニャー村幼稚園園舎建設計画
5. フート省フオンビエン村ゴックスイ橋建設計画
6. トウエンクアン省コックファット村生活用水整備計画
7. クアンニン省ハロン湾ダウゴー島下水処理能力向上計画
8. ベトナム7省に対する中古消防車整備計画
9. ゲアン省フオイサー村灌漑設備及び生活用水整備計画

令和4年度日本 NGO 連携無償資金協力

10. ソンラ省における少数民族の生計向上のための農業及び栄養改善事業

## 令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

### ① 「ダナン市総合病院におけるベッドサイドモニター整備計画」

#### 1. 案件概要

中部沿岸の様々な地域から患者が集まるダナン市総合病院に、ベッドサイドモニター10台を整備することにより、新型コロナウイルス感染症の患者や、外科手術が必要な患者を含む重篤な症状を持つ患者の入院中の身体状況の恒常的確認を可能とし、もって患者の生存率向上を図る。



#### 2. 対象地域と現状

(1) ダナン市ハイチャウ区タックタン街区

(2) ダナン市総合病院は、ベトナム第3の都市であるダナン市（約113.4万人）の中心地に位置し、市民のみならず同国中部沿岸地域からも紹介患者を受け入れる拠点病院となっている。同病院集中治療ユニット（ICU）では、外科手術が必要な患者や外傷患者等重症患者のみならず、新型コロナウイルスの重症患者も受け入れており、ベッドサイドモニターを使用し、脈拍や呼吸状態等、患者の容態変化のモニタリングを常時行っている。ICUでは、感染症の患者の他、外科手術が必要な患者や外傷患者等の治療のため、常時最低38の病床と必要な治療機材を確保し治療体制を整えているものの、備えるべきベッドサイドモニターが不足している。こうした状況のため、ベッドサイドモニターで常時容態変化を確認すべきICUの重篤患者に十分なモニタリングが行えず、看護師は触診や目視で患者の容態変化を確認する必要があるため、看護師への負担が増すとともに、容態が急変した患者に対し迅速に対応できないなどの問題が発生している。



6ベッドルームの病室 4台のベッドサイドモニターを6名の患者で共有

3. 供与金額 82,837米ドル（8,946,396円）

4. 実施団体 ダナン市総合病院

## 令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

### ② 「クアンビン省における統合的クラスター弾等除去計画」

#### 1. 案件概要

クアンビン省クアンニン郡ビンニン村、ポーチャック郡クーナム村において、不発弾・地雷の除去を行うことにより、不発弾により汚染された土地(約 3,281,300 平方メートル)を経済的・社会的に利用可能な土地に転換させ、もって同地域住民に対する生命の脅威軽減及び同地域の経済社会開発に寄与する。

#### 2. 対象地域と現状

##### (1) クアンビン省

(2) ベトナムでは、ベトナム戦争終結以降、依然として国土の 17.27% に不発弾や地雷などの爆発物が残存するとみられている。2014 年、同国は政府内に、不発弾・地雷問題を所管する「ベトナム爆弾地雷除去作業センター (VNMAC)」を立ち上げる等して取り組んでいるが、未だ大量に残留する不発弾等を同国政府のみで除去するのは不可能であり、国際的な協力を呼びかけている。クアンビン省は同国におけるクラスター弾による汚染が最も深刻な地域の一つとされ、VNMAC の報告書 (2018 年) によれば、同省の約 28% (約 2,249 km<sup>2</sup>) に依然として爆発物が残存するとされている。そのため基礎インフラ整備や農地開発が阻害されており、同省では現在でも多くの土地が未開発のままとなっている。被供与団体は、1999 年にベトナムでの活動を開始して以来、同国全土で約 36 万発の不発弾を除去し、183 km<sup>2</sup>以上の土地を開放する成果を上げている。(2022 年 6 月時点) 現在、同団体は米務省からの支援により、省内他地域でも活動しているが、同省の汚染地域は広大であることから、同省の新たな汚染地域で、同規模の不発弾・地雷除去活動を継続するための資金は十分でない。更に、ベトナムの政令により国際 NGO はベトナム政府からの資金援助を得ることも不可能な状況である。



大型のループ型検知器で、地中に埋まる不発弾を探索する作業員。

3. 供与金額 648,148 米ドル (69,999,984 円)

4. 実施団体 マインズ・アドバイザーズ・グループ・ベトナム

## 令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

### ③ 「タイビン省枯葉剤被害者協会リハビリ・職業訓練センター機材整備計画」

#### 1. 案件概要

タイビン省枯葉剤被害者協会社会保護センターの施設内に、医療リハビリ機器（全身訓練器具、全身筋力向上訓練器具等計12種類13台）及び職業訓練関連機材（PC10台、プリンター1台、コピー機1台、机10台、椅子20脚）を整備することにより、枯葉剤被害者とその子供たちの自立に向けた教育環境の改善を図り、もって被害者とその子ども達の健康増進及び社会的自立に寄与する。



#### 2. 対象地域と現状

##### (1) タイビン省

(2) ベトナム戦争中、米軍により8千万リットルの有害化学物質が散布された。うち61%が枯葉剤であり、枯葉剤にさらされた被害者は2型糖尿病、免疫系機能障害、神経障害、筋肉機能障害、ホルモン破壊および心臓病、皮膚疾患などの健康上の問題に直面している。また、胎児の発達にも深刻な影響を与えている。2020年第1四半期の統計によると、タイビン省の枯葉剤被害者は23,389人（直接的な被害者が19,763人、間接的な被害者が3,626人）存在している。

ベトナム枯葉剤被害者協会（VAVA）の下部組織であるVAVAタイビンの社会保護センターは、リハビリセンターと職業訓練センターの計3棟を有しているが、医療リハビリ機器やIT関連の職業訓練のための機材等が現状一切設置されていないことから、効果的なリハビリテーションや職業訓練が実施できない状態となっている。特に、昨今のベトナム社会の需要に鑑み、パソコンスキルは就職において必須となっており、同施設の職業訓練室にIT機材を整備し、被害者のパソコンスキルの向上を図ることは喫緊の課題となっている。



リハビリ機材設置予定の部屋

3. 供与金額 80,967ドル（8,744,436円）

4. 実施団体 ベトナム枯葉剤被害者協会（VAVA）

## 令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

### ④ 「イエンバイ省ムーカンチャイ郡チェークーニャー村幼稚園園舎建設計画」

#### 1. 案件概要

チェークーニャー村幼稚園の、老朽化した園舎2棟を取壊し、敷地内に新園舎1棟（2階建4教室、倉庫4か所、トイレ8か所（便器8個）、計366㎡、コンクリート造）を建設することにより、同園園児の安全でより良い教育環境を確保し、もって同地域の初等教育の質を向上させることを目的とする。

#### 2. 対象地域と現状

（1）イエンバイ省ムーカンチャイ郡チェークーニャー村

（2）同村は、はイエンバイ省中心部から約185km離れており、海拔1,200mの高地に位置する。村の主要な産業は農業及び畜産業であり、人口は3,671人。幼稚園は園児118名と教員7名が在籍している。園舎（木造）は2棟からなっており、4教室を有しているが、竣工から20年以上、メンテナンスを重ねながら使用してきたものの、現在では、トタンや木材の劣化が進んでいる。屋根や壁には多くの穴が開いており、雨天時には雨漏りが発生するため、授業の進行の妨げとなっている。現在の施設や設備の老朽化については保護者が修理を行い、教師が壁の穴に絵を貼り覆うなどの対応をとっているが、根本的な問題解決とはしていない。教室と同様、倉庫の屋根にも一部穴が開いているため、内部の設備・備品の腐食・劣化の一因となっている。また、現行のトイレの面積は6㎡で、12㎡を下回ってはならないという国の基準を満たしておらず、水は断水しており不便且つ不衛生な状態となっている。



穴の開いた天井

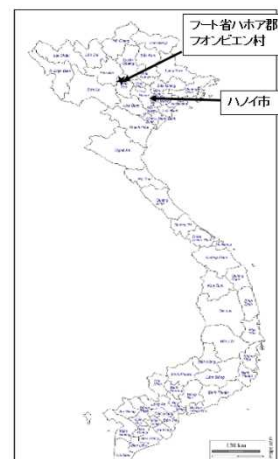
3. 供与金額 81,262米ドル（8,776,296円）

4. 実施団体 ムーカンチャイ郡人民委員会

令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力  
⑤ 「フート省フオンビエン村ゴックスイ橋建設計画」

1. 案件概要

ハホア郡フオンビエン村に、新たにゴックスイ橋(全長7.5m、幅6m、コンクリート造)及び前後のアクセス道路(全長約374.39m、幅6m)を建設することにより、交通アクセスの改善を図り、もって同地域住民の教育・医療環境の向上及び地域経済の活性化に寄与する。



2. 対象地域と現状

(1) フート省ハホア郡フオンビエン村

(2) 同村はフート省中心部からおおよそ70キロメートル東部に位置し、1,088世帯2,827人の村民が暮らしており、農業従事者が多い。フート省を含むベトナム北部では雨期が長期間続き、基礎インフラが十分に整備されていないために頻繁に洪水に見舞われ、大きな被害を受けている。2010年に住民たちによって建設された現在のゴックスイ橋は、フオンビエン村の中心地と近隣の村をつなぐ道路にあり、同村の住民だけでなく、近隣の村の住民も通学や通勤等に利用しており、あわせて同地域の住民の3,983人と770人の児童たちが利用している。歩行者及び自転車・バイクが同橋を通行しているが、道路の幅は2mのみである上、損傷の激しい木製の板で覆われており、橋には手すりとなる欄干がなく、利用者が転落する等の事故の危険性がある。また、雨期に激しい雨が降ると、橋の表面よりも高いところまで川の水量が達し橋を利用することができず、橋の対岸の地域で農業に従事している住民は、自身の農地の管理が困難となる。更に洪水が発生した際は、同村の住民は幼稚園、小・中学校、医療センターと隔離され、教育や医療サービスにアクセスできなくなる。



橋の横面

3. 供与金額 81,209ドル(8,770,572円)

4. 実施団体 ハホア郡人民委員会

## 令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

### ⑥ 「トウエンクアン省コックファット村生活用水整備計画」

#### 1. 案件概要

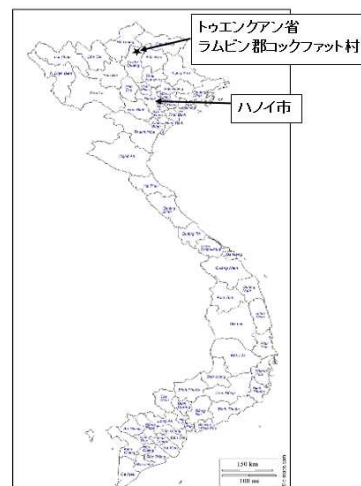
コックファット村に生活用水システム（取水池1基、濾過・加圧タンク1基、取水管・水道管全長約2.5km）を整備することにより、同村の住民並びに小学校、幼稚園及び文化会館に衛生的な生活用水へのアクセスを確保し、もって同地域の衛生環境と教育環境の向上に寄与する。

#### 2. 対象地域と現状

（1）トウエンクアン省ラムビン郡コックファット村

（2）同村は、ハノイより250km北方のトウエンクアン省の山間部に位置するラムビン郡に属し、世帯数57世帯、人口276人である。住民は主にトウモロコシや米等の農業に従事している。

同村には、2003年に取水池（奥行720×幅70×高さ100cm）が建設されたが、取水池及びろ過・水圧調整タンクに接続された供給用パイプは老朽化による錆等により、現在は使用不可となっている。取水池内から、飲用可能な湧泉があるが、居住地からは1.5kmから3kmほど離れており、水汲みが困難であるため、住民は主に同湧泉の下流域から生活用水を確保している。しかし、同下流域は、周辺の農地からの殺虫剤や農薬、家畜排泄物等により汚染されているため、住民は水を介した病気への感染の危険性にさらされており、毎年住民の五分の三が不衛生な水が原因とされる感染症の罹患の診断を受けている。また、村内の小学校、幼稚園及び文化会館で使用するための生活用水も同様の状態であり、下流域から確保した水を、学校や文化会館が自ら設置したタンクに溜めて使用している。



コックファット村小学校給水タンク

#### 3. 供与金額

69,015 米ドル (7,453,620 円)

#### 4. 実施団体

ラムビン郡人民委員会

## 令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

### ⑦ 「クアンニン省ハロン湾ダウゴー島下水処理能力向上計画」

#### 1. 案件概要

クアンニン省ハロン湾ダウゴー島において、島内の2つのトイレ付近に設置されている旧式の腐敗槽3基に加え、新たに浄化槽3基（5㎡×2基及び1㎡×1基）を整備することにより、観光客が増加する同島の汚水処理能力の向上及び汚水処理における環境負荷への低減を図り、もって水環境の保全に寄与する。



#### 2. 対象地域と現状

##### (1) ハロン湾ダウゴー島

(2) ハロン湾は、大小多数の奇岩や島々が存在する景勝地であり、1994年にユネスコの世界自然遺産に登録された。年間観光客数は今後もさらに増加し続けることが予想されている。ダウゴー島の住民は殆どいないものの、ハロン市等からダウゴー島に通勤して観光産業（サービス業、環境保護等）に従事し生計を維持する者は460人。ダウゴー島は湾内最大の島で、ハロン湾を訪れた観光客の多くがダウゴー島を訪れている。同島における2022年6月の1日当たり平均訪問観光客数は6,838人であり、観光客数の増加に伴いトイレの利用も増え、処理しなければならない下水の量も急増しているが、現在の旧型の腐敗槽（汚水処理タンク）では下水処理能力に限界があり、処理された汚水は、湾内に放出され、その結果、水質の悪化が確認されている。2021年に実施された環境モニタリング調査の結果によると、一部の周辺海域においてベトナム天然資源環境省の定めた水質基準を超えるアンモニア濃度が観測されており、水生生物や人体への悪影響が懸念されている。



公衆トイレ用の浄化槽（CE25）の設置予定地

3. 供与金額 67,470米ドル（7,286,760円）

4. 実施団体 ハロン湾管理局



## 令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

### ⑧ 「ベトナム7省に対する中古消防車整備計画」

#### 1. 案件概要

ベトナム国内で消防車が特に不足している7省において、日本の中古消防車計7台（消防ポンプ自動車7台）を配備することにより、同省の消防・救助能力の増強を図り、もって社会経済の脆弱性に対応する。

#### 2. 対象地域と現状

(1) バクリエウ省、ビンフオック省、ドンタップ省、ナムディン省、ニンビン省、クアンガイ省、フーイエン省

(2) ベトナムは、ハノイ市やホーチミン市の人口密集地等における都市化及びその近隣省における工業化が急速に進んでおり、それに伴い火災リスクがあるとして管理が必要とされる場所が増加している。同国で消防及び救助活動を担う公安省消防救難警察局は、全国各地区の火災等発生及び被害の状況、人口密集状況等を踏まえ、消防救難体制を整備する任務を帯びている。同局は2022年9月時点において、海外から提供された中古車両も含め、3,721台の車両を有し、うち消防車の台数は1,295台となっているが、その3割を超える車両が20年以上使用されているものであり、3分の1を超える車両が故障等により使用できない状態にある。そのため、実際に使用することができる消防車は862台にとどまっており、消防機材の更新・増強が必要不可欠となっている。特に、今回整備される中古消防車の配備先となる7省の消防部隊は、いずれも保有する消防車の台数が救難警察局の定める台数に達しておらず、また、保有している消防車の品質も高いとはいえない状態にある。



現在も使用している30年以上前の車種の日本製ポンプ車

3. 供与金額 185,267米ドル（20,008,836円）

4. 実施団体 ベトナム消防救難警察局

## 令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

### ⑨ 「ゲアン省フオイサー村灌漑設備及び生活用水整備計画」

#### 1. 案件概要

ゲアン省トゥオンズオン郡フオイサー村において、生活用水システム（配水タンク1基、ダム1基、生活用水水道管と灌漑用水水道管全長計 8871.86m）を整備することで、住民に衛生的な生活用水と灌漑農業用水を提供し、もって同村の生活の質の向上と公衆衛生の改善に寄与する。



#### 2. 対象地域と現状

(1) ゲアン省トゥオンズオン郡フオイサー村

(2) 同村はハノイから南西に 400 km、ゲアン省の省都であるヴィン市より 300 km 北西の山間部に位置する村で、人口およそ 480 人、111 世帯が居住している暮らす。全人口の約 98% がタイ族、コーム一族及びモン族で、主に農業に従事している。同村には、村民に加え、村内の少数民族の寄宿学校の生徒と教員 200 人、幼稚園の園児と教員 187 人、人民委員会職員 36 人が勤務・就学している。現在、各世帯及び学校等施設では、主に動物の死骸や排泄物等の汚染リスクの高い小川から生活用水を確保しているため、下痢等の症状を訴える者が頻発するなど衛生上の問題がある。乾季の水量が少ない時期にはそのリスクがさらに高まり、雨季には砂泥等での汚染リスクも高まる。また、集落には 20ha 以上の灌漑農業の水田があるが、現行の灌漑設備は住民たちの手によって、土嚢等で作られた仮の設備であり、十分に農業用水を水田に行き渡らせることができず、一部の水田では水が不足している。



住民の水汲みの様子

3. 供与金額 84,091 米ドル (9,081,828 円)

4. 実施団体 トゥオンズオン郡人民委員会

# 令和4年度日本 NGO 連携無償資金協力署名案件（概要）

## 「ソンラ省における少数民族の生計向上のための農業及び栄養改善事業」

### 1. 事業概要

ベトナム北部の山岳地域ソンラ省バックイェン県及びソプコプ県の深刻な貧困状況にある少数民族のコミュニティにおいて、世帯内の食料確保と農産物の円滑な流通を目的とする農業生産の向上支援を行い、各世帯での生計を改善する。また、地域の農業、保健等の関連機関や関係者との連携を通じて妊婦と子どもの栄養改善を支援し、子どもの身体の健全な成長を図ることで継続的な社会経済発展を目指す。



### 2. 主な活動内容

#### 1. 対象世帯における収入向上と世帯内への食糧供給に向けた農業生産と農産物流通の強化

農業生産者間で経験などを情報交換するための生産者グループを設立し、作物栽培や家畜の飼育についての知識・スキルを体験・習得するためのモデル農園を設置するとともに、農産物の流通や業者との交渉に関する研修を実施する。

#### 2. 対象世帯における母子の栄養状態の改善

母子栄養に関する指導者を育成し、保健医療施設での産前検診の受診の促進をするとともに、子どもの栄養状態のモニタリングを行い、栄養不良の子どもへの両親に対する栄養指導や、世帯における栄養摂取状態のフォローアップを実施する。また、子どもの教育や健康、栄養ケアに関して意見交換を行う両親グループを設立し、栄養に関する育児不安や子育てに悩む両親が現地の言語で気軽に話し合える場を提供する。

#### 3. 事業の成功モデルを基にした少数民族の生計向上に係る政策やプログラムへの働きかけ

本事業での成功事例をとりまとめ、ソンラ省や中央政府への政策提言や成果の発信を行う。

#### 4. 現地行政の事業運営能力の強化

事業終了後の継続的な実施体制を見据え、現地の行政機関も交えた本事業に係る事業実施チームを設立し、その構成員に対する事業管理の研修を行うとともに、実際に当該チームによる本事業の進捗状況のレビューを実施する。

### 3. 事業費

総事業費： 224,812,451 円（N連申請額：214,565,210 円）

第1年次（令和4年度）事業費： 69,771,823 円（N連申請額：65,144,991 円）

第2年次（令和5年度）事業費： 84,841,201 円（N連申請額：82,022,779 円）

第3年次（令和6年度）事業費： 70,199,427 円（N連申請額：67,397,440 円）

### 4. 実施団体

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン